



平成28年 4月15日

- 2〜4面 御柱祭
 - 5面 高齢者講座・みんなの宝
 - 6面 スポーツ・情報・俳句
 - 7面 史学会研修旅行
 - 8面 飯田お練りまつり
- べんべん草



まつかわ百景 ⑧

「地域とともにある福与保育園」

平成27年度福与保育園の卒園児は5名、残る子は4名。4名の内3名は双葉保育園に、1名は名子中央保育園に転園します。それを知ったのは年度末が近づく最後の役員会の時でした。驚きもありました。一番はショックでした。人数が少ないなりに続いていくものだと思っていました。園庭は広く、天竜川沿いでいいお散歩コースもある。土手すべりもできる。子ども達が思いっき遊びにはとてもいい環境です。双葉のお友達が福与に来た後「また行きたい!!」と言うほど。子ども達のパワーを遠慮する事なく出せる場所なんだと感じます。しかし延長保育はなし。未満児保育もありません。働くお母さんが多い今、保護者にとっては整った環境とは言えない所もありました。私自身も延長が欲しいと思つた事もありました。保育園に合せて仕事を調整した事もあります。でも、それでも福与保育園に通わせたいの思いが強く、延長があっても未満児保育があっても他の園へ行く事はしませんでした。

主張 福与保育園は

いいところ

福与が良かったのです。人数は少ないです。だからゲームのルール変更が必要なものもありません。ゆりさんだけ、ばらさんだけ、つくしさんだけの運動会競技もやるのが難しいです。だけど、だからこそ子ども達はみんなで楽しむ為には...と考えます。工夫します。それを実行します。子ども達は私達が考えている以上にしっかりとっています。お友達を思いやる事ができます。そんな子ども達の姿を私達保護者だけでなく、地域のみなさんも温かく見届けてくださっています。時には保育園行事にも参加して下さいます。今までに、きなこ作りやおはぎ作りも教えてくださり一緒に楽しみました。顔を合わすと「チャネルユー見たよ。」と声をかけてもらえたりと、子ども達をかわいがって頂ける事にとても感謝しています。そんなステキな福与保育園にまた子ども達が元気に走り回る姿が見られる事を願わずにはいられません。...

平成27年度保護者会
吉田咲希子



御射山神社

4月2日



祝御柱祭

今春は、町内の神社で7年に1度の御柱祭
 が開催されました。御柱祭の起源等につい
 ては、館報2月号や今月号7面でも触れてい
 ますが、力強く柱を曳く姿が町内各地で見
 られました。





神護原神社
4月3日





みんな頑張ったスポーツ

松川ミニバスケットボール クラブからのお知らせ

今年度の松川ミニバスケットボールクラブは

- 男子6年生 4人
- 男子5年生 6人
- 以下 12人 全22人
- 女子6年生 1人
- 女子5年生 5人
- 以下 8人 全14人

で、1年間たくさんさんの大会や交流試合をしてきた成果をお知らせします。

12月6日 松川優勝大会

男子高学年 3位

男子低学年 3位

2月28日 上郷優勝大会

男子高学年 3位

男子低学年 3位



3月20日

平成27年度新人交流会

女子 優勝

3月27日に6年生を送る会を名子地区公民館で行ない27年度最後の活動となりました。

今年度は、男女ともに6年生がとも少ない中、クラブ員一丸となって戦ってきました。

特に女子は6年生が1人で全体の人数が少ない為、2年生も含めいつも全員出場頑張ってきました。あまり良い成績が残せなかつたとは思いますが、日々の練習と試合を一生懸命にがんばった子どもたちにはご苦労様と思います。

3月20日に行なわれた新人戦では女子が優勝する事が出来ました。新年度に向けさらに頑張ってくれることでしょう。



それにあたり、新しく一緒に始めてくれる仲間を募集しています。興味のある友達は何時でもいいので見に来てください。一緒にバスケット始めませんか。

みんないっしょにおどろう！ ミニバッション(保育園)

ミニバッションでは、保育園の年少から年長の子どもたちが集まって楽しく体を動かして、音楽に合わせて踊っています。

練習の成果は町内の様々なイベントに参加して、発表の機会をいただいています。大勢の人の前で踊るのはドキドキ！でも子どもたちの大きな自信に繋がっていると思います。いっしょに踊りませんか？



練習日時

毎月第2、4木曜日
午後4時半から5時半

練習場所

町民体育館 卓球剣道室

会費

1ヶ月(2回)1,000円

(イベント出演などにあわせて、練習回数と会費に変動があります)

持ち物

上履き 水筒 タオル

参加イベント

上片桐フェスタぎおん

あらい祇園祭

清流苑まつり

町民文化祭

名子区民演芸会

今後の練習予定

4月14日・28日

5月11日・25日

(無料体験できます)

連絡先

中央公民館 36-2633

弓道教室開催のお知らせ

主催 松川町弓友会

共催 松川町教育委員会

松川町公民館

対象者 学生、松川町民、松川在勤者(学生は、高校生以上)

日時 5月16日(月)より 毎週月、木曜日

夜7時から2時間くらい

20回にて終了予定

場所 松川町弓道場 (名子地区)

持ち物 町に道具があります 胸にボタンの無いシャツ

費用 スポーツ保険加入代

申込締切 5月13日(金)

申し込み先

中央公民館

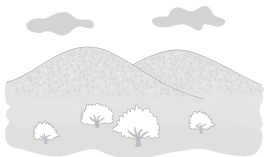
TEL/FAX 36-2633

俳句

春 灯 し

矢沢 さち子 (東浦)

ひねもすをかけて豆煮る雨水かな
傷をなめ出直してゆく猫の恋
春灯し母との湯浴みねんごろに
生き方はみなそれぞれや春の山
花の雨かな文字で書く西行歌



諏訪信仰の由来を訪ねて

松川町史学会研修旅行

御柱祭の今年、松川町史学会では諏訪信仰について学び町内でも行われる御柱祭と諏訪信仰とのつながりなどを知る旅に出かけました。

諏訪大社四社参り

今回の研修旅行は史学会の主催で行われ、会員だけでなく一般参加者も募り、総勢35人が参加しました。開催日の3月23日は天候に恵まれ、諏訪大社や諏訪市博物館、そして今回の一番の目的地である、旧御射山を訪ねました。史学会の研修で毎回講師をされている元松川町資料館の酒井幸則さんの説明を聞きながら巡りました。



上社 本宮

上社本宮・前宮。下社春宮・秋宮の二社四宮からなる諏訪大社。全国に25000社ある諏訪神社の総本社で、信濃国一之宮として県内に広く信仰されています。二社四宮全てに4本ずつ御柱が建てられ「人を見るなら諏訪御柱」といわれるほど、諏訪大社の御柱祭では諏訪の地は大勢の人たちで埋め尽くされます。本家諏訪大社の御柱の大きさにみなさん感動していました。諏訪大社では御柱祭のことを正式に「式年造営御柱大祭」といい「造営」という言葉が含まれます。そして御柱祭の時には御柱を建てるだけでなく宝殿の建て替えも行われます。例えば、上社本宮の宝殿は、前回西宝殿が建て替えられ、今回は東宝殿が建て替えられます。御柱を建てるのが社殿造営の代わりという説もありますが、建て替えられるのは御柱だけではないのです。館報まつかわ前々号(2月

号)でも、諏訪信仰や御柱祭の由来、松川町でも御柱祭が行なわれる理由などを紹介しましたが、鎌倉時代には諏訪神社の重要な祭事「御射山祭」の御頭役として、信濃国各地の在地領主が割り当てられ、片桐氏や大島氏も勤めました。祭りの費用は御頭役の負担であるため多額の費用が必要となり、当然その費用は領民からも集められました。そのため直接お祭りに参加できない領民も御射山祭に関わっていることになり、諏訪信仰が自然と広がることになりました。中世の時代から諏訪神社(現…諏訪大社)と深く関わってきたことが、御柱祭が県内各地の諏訪神社でも行われる大きな理由となっています。

旧御射山

上片桐や大島に残る「御射山神社」「御射山」の名は、中世の在地領主、片桐氏や大島氏が諏訪の御射山祭で御頭役を勤めたことによります。御射山祭は旧暦の7月26日に行われ、風雨を鎮め五穀豊穣を祈るものです。「御射山」に諏訪明神が遷座し、神官をはじめ参加者一同が、青萱の穂で仮屋をふき(穂屋)、5日



現 本御射山神社

間こもって祭典を行います。そこで武士たちは狩りをはじめ流鏑馬や弓馬などの武芸、相撲を競って奉納しました。この狩りなどの武芸を行う場所「射る山」が「御射山」というわけです。霧ヶ峰山中にある旧御射山(現…本御射山神社)は中世に下社の御射山祭が行われた遺跡です。今は秋宮に近い武井の地に御射山は移されており、元の場所が旧御射山と呼ばれています。この「御射山」の名が上片桐の御射山神社や神護原神社境内にある御射山の地に残るわけです。神護原神社は御射山という地におまつりしたと

いう記録もあり、もともと「御射山」と呼ばれていた可能性もあるそうです。

また、上片桐の大栢には、諏訪地方の土着の神「ミシヤグチ」がまつられていることや、御射山祭で「青萱の穂で仮屋をふく」というところから「おおがや」の名に諏訪信仰との関係性があるのではないかといいかれています。

この研修旅行が行われたのは町内の御柱祭が行われる前でしたので、参加した皆さんは御柱祭の意義を改めて感じながら、地元御柱祭に参加・見物されたのではないのでしょうか。



片桐町 長持保存会 3月26日



飯田 お練りまつり



大洲七椏神社 獅子舞 3月26日



この公民館報が発行される頃には終わっていますが、数えて7年に一度の御柱祭が催行され、特に御射山神社の御柱祭は館報でも何度か触れていますが、50回300年を数えます。

長い間脈々と受け継がれてきたお祭りですが、長く続けてこれたのには地域の皆さんの協力が欠かせないものであったでしょう。今回の御柱祭でも綱打ち、町飾り、獅子囃子、長持、太鼓、踊りと、直接間接問わずお祭りに向け協力して準備されてきたことと思います。少子高齢化が進むであろうこれからは、こうした地域の力をもっと重要になってくると思います。

そんな地域の交流の場として公民館が果たす役割は大きなものがあると思います。昨年度、編集部長として館報制作に携わってきましたが、なかなかすべての活動を紹介しきることができませんでした。公民館がかかわる活動は多岐にわたっていますので、何かやりたいと思ったら公民館に声をかけてみてはいかがでしょうか。

大久保康司

公民館報
「まつかわ」
第 630 号
平成28年4月15日

発行所 松川町公民館
責任者 小 沢 誠
編集人 公民館編集部
Tel 36-2633
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。